

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	一般検査学演習 (Exercises in Laboratory Analysis)		
ナンバリングコード	S20316	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 臨床検査学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S007651	クラス名	-
担当教員名	菅崎 幹樹		
履修上の注意、 履修条件	臨床検査学コースの学生は必ず履修すること。		
教科書	最新 臨床検査学 一般検査学(医歯薬出版) 尿沈渣特集 医学検査2017J-stage1号 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会		
参考文献及び指定図書	一般検査技術教本 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 髄液検査技術教本 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 尿沈渣レファレンスブック 医学書院		
関連科目	臨床医学総論、臨床化学検査		

○基本情報		
授業の目的	臨床検査の主要部分を占める検査として血液、尿、脳脊髄液をはじめとする体液中に含まれる特定成分の定性的、定量的な検査がある。各検査項目は、それぞれ独自の測定法によって、高い精度で定性、定量される。主な測定法の基礎原理を中心に、それぞれがもっている特徴と利点・欠点に関して理解していく。 検査の分析は検体を採取するところから始まっており、検体採取の方法や採取された検体の取り扱いとは正確な検査結果を得るために需要である。 1. 尿検査:尿試験紙法、定性法の測定法原理を理解し、偽陽性・偽陰性反応を正しく理解できる。 2. 糞便検査:免疫学的検査法の原理や検出感度を理解し正しく結果を理解できる。 3. 脳脊髄液検査:一般性状を理解し、細胞数の算定方法や定性検査での正確な判断基準を修得して	
授業の概要	尿、一般検査、便検査、脳脊髄検査などいわゆる臨床一般検査の技術的特徴と検査結果の解釈まで、総合的に学ぶ。尿検査では尿の一般的性状としての色調や比重、尿蛋白、尿糖などの検査方法や腎臓機能と尿生成について学ぶ。また、便の検査では潜血反応、脳脊髄液検査では細胞成分のカウント方法を身に付ける。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	臨床検査技師として医療機関に勤務し、一般検査に従事した経験を活かして、臨床検査の現場に必要とされる尿検査、便検査、脳脊髄液検査及び国家試験合格に必要な知識と技術について講義を行う。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、医用工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技術を修得出来ている。	25点	25点	
【ディプロマ・ポリシー3】	医療の実態を理解したうえで、チーム医療の実践や他職種間の連携に必要な問題解決力を身に付けている・	25点	25点	
【ディプロマ・ポリシー4】				
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) 課題等のフィードバックは、次回の授業で適宜行います。 レポート点はA、B、Cの三段階で評価し提出期限を過ぎた場合はC評価とし、提出物として評価する。				

○その他
講義内容についての質問は講義前後に教室で受け付けます。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	一般検査学演習 (Exercises in Laboratory Analysis) 菅崎 幹樹	授業コード	S007651
学修内容					
1. 一般検査学概論					
・臨床検査技師の役割と使命について学ぶ。					
・一般検査の意義と重要性、位置づけなど学ぶ。					
・簡易検査の実施における注意点について学ぶ。					
予習	教科書を読み予習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
2. 尿について I					
・基礎知識として尿の重要性、腎臓の構造、尿の生成と排泄、尿の組成など学ぶ。					
・検体の採取方法、取り扱い方について学ぶ。(時間による分類、手技による分類、検体の保存方法など)					
予習	教科書を読み予習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
3. 尿について II					
・一般的性状として尿量、外観、混濁尿の鑑別方法を学ぶ。					
・尿試験紙の取り扱い方、概要、保存方法、注意点について学ぶ。					
予習	教科書を読み予習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
4. 尿化学的検査 I					
・比重、PH、浸透圧、蛋白、ベンスジョーンズ蛋白について学ぶ。					
予習	教科書を読み予習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
5. 尿化学的検査 II					
・微量アルブミン、アセトン体、尿糖について学ぶ。					
予習	教科書を読み予習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
6. 尿化学的検査 III					
・ビリルビン、ウロビリニン体、血尿・ヘモグロビン尿・ミオグロビン尿について学ぶ。					
予習	教科書を読み予習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
7. 尿化学的検査 IV					
・亜硝酸塩、白血球、アスコルビン酸、ヒト絨毛性ゴナドトロピン(hCG)・妊娠反応について学ぶ。					
・尿試験紙法実技を実施、尿比重(屈折計と試験紙法の比較)を学ぶ。					
予習	教科書を読み予習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
8. 尿化学的検査 V					
・特殊検査項目(ポルフィリン体、フェニルケトン体、アルカプトン、5ヒドロキシインドール酢酸、バニリルマンデル酸、メラノゲン、脂肪、インジカン)について学ぶ。					
予習	教科書を読み予習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	一般検査学演習 (Exercises in Laboratory Analysis) 菅崎 幹樹	授業コード	S007651
学修内容					
9. 中間試験・尿沈渣検査Ⅰ					
・尿沈渣標本の作製法を学ぶ。					
・尿沈渣標本の染色法、鏡検法を学ぶ。					
予習	教科書を読み復習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
10. 尿沈渣検査Ⅱ					
・尿沈渣成分について学ぶ。(細胞類、円柱類、塩類・結晶類など)					
予習	教科書を読み復習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
11. 尿沈渣Ⅲ					
・尿沈渣標本を作製し尿中成分を観察する。					
予習	教科書を読み復習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
12. 糞便					
・糞便について基礎知識、検体採取法・取り扱い法、一般的性状、便潜血(免疫学的検査法)について学ぶ。					
予習	教科書を読み復習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
13. 脳脊髄液Ⅰ					
・脳脊髄液について基礎知識、検体採取法・取り扱い法、一般的性状について学ぶ。					
予習	教科書を読み復習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
14. 脳脊髄液Ⅱ					
・脳脊髄液について細胞学的検査(細胞数、細胞分類、塗抹標本の作製法)、化学的検査(髄液蛋白、髄液糖、髄液クロール、髄液酵素)について学ぶ。					
予習	教科書を読み復習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
15. その他					
喀痰、穿刺液、精液、その他体液について学ぶ。					
予習	教科書を読み復習する。				約2時間
復習	教科書と授業内容を照らし合わせながら復習しレポートを提出する。				約2時間
16. 期末試験					
予習					約2時間
復習					約2時間